

高萩地区第4回学校運営協議会会議録

日時	令和5年1月26日（木）
場所	高萩中学校
出席者	石田則雄 岡野一平 市川徹 井上雄太 塩川忠 田中和歌子 谷本和歌子 河村康郎 梶野義明 小坂井教育指導幹
欠席者	鴨下吉彦 宮崎千恵子
協議事項及び 決定事項	(1) 学校評価について（システムシートをもとに） (2) 地域学校協働本部の組織・運営について (3) 地域学校協働本部の今後の取組について (4) その他
会議の経過	(1) 学校評価について ① 組織運営の充実 ア 職員と保護者の回答率の乖離の理由を知りたい。 イ 校庭に公民館ができたことが数値に反映されているのではないか。 エ 感染対策によく取り組んでいる。中学校の外トイレの小便器が高く、小学校低学年の児童の利用に課題があると聞いている。プールの水面の上げ下げを学年により変えることに大変さがあるのではないか。 オ この資料上に昨年度の数値があると比較しやすい。 カ 子どもたちが授業に意欲的に取り組んでいる。 回答 小：教員は精一杯取り組んでいるところだが、保護者の皆様にご理解いただけるまでには至っていないのではないか。校庭が狭くなったので、半分ずつ校庭で遊ばせていることに対してのご心配があるのかと思う。 中：小中でのプールの共有に課題があった。 ② 基礎学力の定着について ア 中学校の先生が小学校へと出向していることへの成果はどうか。 イ 中学校の先生が小学校へと行っていることへのうれしい感想を家庭で聞いている。 ウ 中学校の「4家庭学習に取り組んでいる」の項目が他の項目と比べて数値が下がっているので、改善策を検討してほしい。 エ 日高塾で、課題が終わるとすぐにタブレットを使いたがる、タブレットの活用で学習効果が上がっているのかを知りたい。 回答 中：わかりやすい授業、家庭学習ともに、ご家庭での様子を見てご評価なさっているのだと思う。自主学習という形での宿題の取りまかせ方を考えている。欠席している生徒への対応としては、授業の配信を検討している。数学の教員が小学校の授業の行い方を知ったり、6年生の実態を知ったりと乗り入れ授業の成果を感じている。タブレットの活用法については、試行錯誤をしている段階である。 小：タブレットを活用しての授業は定着しつつある。学力的な効果はこれから

わかってることだと思う。授業のオンライン配信は全クラスで行っている。学力向上プロジェクトに取り組んでいるので成果を期待している。

③ 保護者や地域との連携

ア 新公民館の活用について知りたい。

イ 昨年度より学校の状況がよくわかるようになっている。

ウ 小：学校便りや広報、子供たちの様子がよくわかり、地域の方が喜ばれている。職員室日記で地域の方への感謝を伝えたのがよかった。

中：長期記憶の話がわかりやすく、22年度を振り返るのに活用した。

エ 小学校の「5情報提供に努めている」に課題がある。

オ 小学生が公民館によく来てくれている。

カ 地域学校協働本部をぜひ活用してもらいたい。小学校の評価が低いのは保護者の関心が大きいのも理由の1つだと考える。

回答

小：公民館の利用については中学年を中心に始まっている。外部講師を招くときにも、公民館を活用するなど、有効利用している。

④ 社会性人間性の育成

ア 小学校のたてわり遠足、子どもたちが楽しそうに活動していた。ご家庭で兄弟がいなくても、学校で異年齢の子と活動できるのがよい。

イ 小学校の学校応援団の活用の数値が減っているのが残念だが、地域学校協働本部を活用するなどして、向上を期待している。

ウ 高萩囃子、子どもたちのうれしそうな顔を見て、保護者も喜んでいた。高萩中の合唱祭の歌に感動した。

エ 小学校のたてわり遠足は今まで関わったことのない、友達、先生と関わるのがよい。

オ 中学校の合唱祭が3年振りに実施できてよかった。コロナ禍で職業体験が行えていないのが残念である。

カ 中学校の職業体験の展望があれば教えてもらいたい。

回答

小：高萩囃子の質疑応答が子どもたちにとって大変有意義であった。人間性、社会性の育成に寄与している。

中：職場体験の実施については、市で決定している。可能であればすぐにでも行いたい。職業体験ができるようになった際には、中学生が6年生に伝えるようにすると効果的だと考えている。

⑤ 安心安全な教育環境

ア 当たり前のことではあるが、十分注意を払って指導に当たってもらいたい。

イ コロナ対応はこれからも継続して、安心安全な学校づくりに努めてほしい。

ウ 数値が上がっていることを好意的に感じている。事故0がすばらしい。

エ いじめの早期発見への対応があり、児童が安心して通えている。

オ 職員と保護者の数値に差があるのは、子どもの思いに寄り添えていない部分があるのかと思う。

カ SNS への対応については、小学校は外部講師を呼んでいると聞いているが、中学校はどうなっているのか。

キ いじめの問題は根深く、指導するのも大変だと思う。

回答

小：「9 安心安全」に関しては、通級がある関係で、門が開くことが多いのとなりがちがあるのかも知れない。いじめについては、全教職員で情報共有を行っている。子どもの気持ちに寄り添って指導に当たりたい。

中：事前予告なしの避難訓練を行い、生徒が自分たちで考えて動けるよう指導をしている。二者相談、やりとり帳(日記)を活用し、いじめの早期発見に努めている。SNS では、薬物乱用防止教室の際に指導を行っている。大きな問題がなく日々を過ごせているので、これからも継続していきたい。

(2) 地域学校協働本部の組織・運営について

- ① 本部会のメンバーに小中学校の PTA 会長が入った。
- ② 環境整備部のメンバーが加わった。
「備」の文字を「美」としたい。→ 全会一致で可決
- ③ 学習・課外活動部の強化をしたい。そのために、コーディネーターを支援する人を 2 人追加したい。→ 全会一致で可決
- ④ 高萩地区学校運営協議会だよりの発行を 4 月に考えている。

(3) 地域学校協働本部の今後の取組について

- 令和 5 年度第 1 回日高市 CS 研修会 高萩地区学校運営協議会活動報告
発表者 → 石田会長